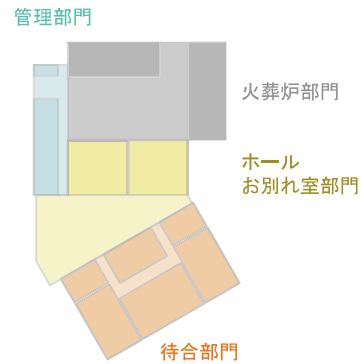


ゾーニング計画

エントランスホール・お別れ室を中心として各部門を配置することで、葬送行為の行いやすさと管理のしやすさを両立したコンパクトな平面計画とします。

利用者ゾーンと管理者ゾーンを明確に分け、それぞれに適したしつらえとします。

管理部門、火葬炉部門はコンパクトで使いやすい計画とし、日常的な運営のしやすさに配慮します。



■ホール・お別れ室部門

- ・エントランスホールは、入場口からお別れ室へ体が自然と向かうような三角形の平面計画とします。
- ・お別れ室は告別から収骨までの一連の葬送行為をとり行うことのできる独立性の高い空間とします。また、会葬者の人数に応じホールと一体的な使い方ができるよう、大型扉を持つ計画とします。
- ・お別れ室から近い位置に待合部門を配置し、告別後の移動や、収骨前の移動がスムーズにできる、わかりやすい動線を考慮した平面計画とします。

■待合部門

- ・角度を振った大きな壁を境にして、荘厳さや静謐さが求められる火葬炉部門との距離をとり、温かみと安らぎが感じられる待合部門を計画します。
- ・待合ロビーを中心に、待合室・トイレ・キッズスペース・喫煙室・自販機コーナーをコンパクトにまとめ、使いやすい待合部門を構成します。

■管理部門

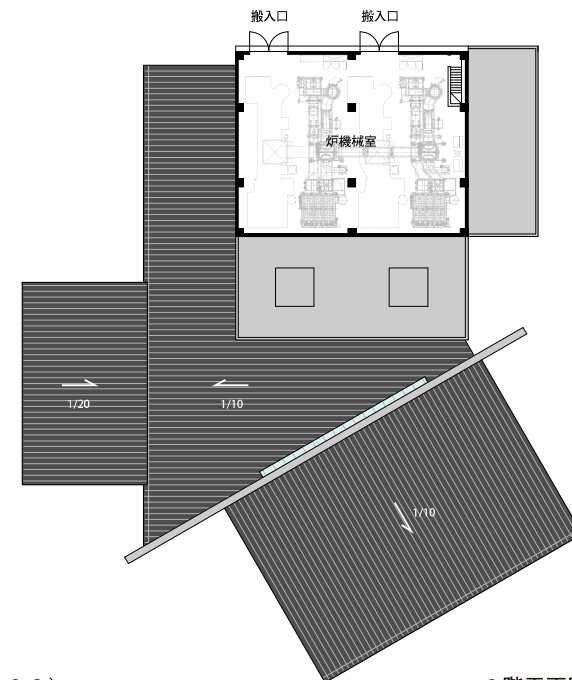
- ・管理部門は、炉室やホール、お別れ室を行き来しやすい位置とし、管理のしやすさに配慮します。
- ・駐車場や車寄せを見通すことができ、また会葬者に対応しやすい位置に事務室を設けます。
- ・職員用の駐車場と職員用玄関を極力近接させ、使いやすさに配慮します。
- ・炉室から使いやすい位置に、トイレや更衣室を設けます。

■火葬炉部門

- ・会葬者から見えにくい敷地奥に集約し、炉機械のモニタリングを行いやすい配置計画とするとともに、管理部門との行き来がしやすい計画とします。
- ・メンテナンスや機器の更新に配慮し、十分なサービスヤードや屋外出入りを計画します。



1階平面図 (S=1/400)



2階平面図 (S=1/400)